



新入会員募集中!!

言 行 一 致

今、JCメンバーとして...

(社)三原青年会議所は自分たちの住んでいる「まち」を愛する20歳から40歳までの青年の集いです

情熱溢れる青年が全国に6万人！世界に30万人！ この組織を活かしあなたも自分の世界を広げてみませんか？ 新しい「出会い」を！すてきな「感動」を！

入会資格

25歳から35歳（原則として）の三原市及び近隣市町村に在住又は勤務されている方
性別は問いません

入会方法

規定の入会希望書を3月19日までに事務局までご提出頂き、説明会、面接の後、仮入会員として一緒に活動して頂き、その後正式入会となります。

詳しくはこちらまで

〒723-0052 三原市皆実4-8-1(三原商工会議所内)
(社)三原青年会議所
会員研修アカデミー委員会まで
TEL 0848-63-3515 FAX 0848-62-1141
E-mail: mjc@tako.ne.jp

市民活動団体の調査にご協力下さい!! ~協働のまちづくりに向けて~

これからのまちづくりは、市民・企業・行政が共にパートナーシップを発揮してまちづくりを行っていく、すなわち「協働」によるまちづくりのシステムづくりが不可欠です。

そこで、(社)三原青年会議所では、協働のまちづくりを行う第一段階として、みはらにおける市民活動を調査することによって、各活動団体がパートナーシップを発揮できるシステムづくりを行っていきたいと思います。皆様からいただいた情報を集計・整理し、そして発信し、活動のきっかけづくりや、**市民活動のネットワーク化**による活性化を図りたいと考えております。皆様からの情報提供をよろしくお願いたします。

調査期間

2月20日(火)から4月30日(月)まで

調査対象

ボランティア活動をはじめとする、市民に開かれた自発的・自主的な社会貢献活動としての市民活動を行う団体。ただし、営利を目的としないこと、特定の宗議を広めるなど、宗教活動を目的としないこと、特定の候補者を支持するなど、政治活動を目的としないこと。



まずは
お問い合わせを!!

(社)三原青年会議所 協働のまちづくり実践委員会 担当：渡辺 まで
TEL 0848-63-3515 FAX 0848-62-1141 E-mail: mjc@tako.ne.jp

第26回 やっさ祭り キャンペーンテーマ募集中!

第26回三原やっさ祭りを盛り上げるキャンペーンテーマ(キャッチフレーズ)を公募します。やっさ祭りにふさわしい、明るく、楽しい、そして親しみやすい、そんなキャンペーンテーマを募集します。皆さんふるってご応募ください。

応募方法

はがき・封書・FAX・インタ-ネットまたは、持参
住所・氏名・年令・電話番号をご記入の上、お申ください。

締め切り

3月2日(金)まで

表彰

優秀賞1点(賞金3万円とやっさオリジナルグッズ)

佳作2点(やっさオリジナルグッズ)

結果発表

選考後、本人宛にご連絡いたします。

採用したテーマは、ポスター・ガイドブック等の印刷物すべてに使用します。
応募作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却いたしません。

応募先

〒723-0052 三原市皆実4-8-1
三原商工会議所内 三原やっさ祭り実行委員会まで
TEL62-6155 FAX62-5900
URL: <http://www.mhr-cci.or.jp/yassa/index.htm>



モニター募集

皆様の声をお聞かせ下さい

“やっさもっさ”ではモニターを募集しております。紙面に対する皆様の率直なご意見、ご感想を是非お聞かせ下さい。詳細については以下のとおりです。

モニター方法

簡単なアンケート

モニター期間

2001年1月号~11月号(毎月1回)

申込先

〒723-0052三原市皆実4丁目8番1号
(社)三原青年会議所事務局まで
TEL63-3515 FAX62-1141

みようではありませんか。
(沼田東町 男性)

投稿募集“ちょっと一言”

〒723-0052
(社)三原青年会議所
広報委員会 行

本紙では投稿を募ります。市民の皆さんの身近なご意見をお聞かせください。お待ちしております。(四百字程度)なお掲載分については粗品を進呈いたします。

ちょっと一言

人口減少について

ここ何年も前から、三原市の人口が少ずつ減少している。世帯数はさほどでもないのになぜだろうか。市内ではあちこちに新しい住宅団地が次々と出来ている。それなのに人口が減少する、核家族のせいだけなのだろうか。昨年の国勢調査で広島県も人口が減

少に転じている。その原因は不況、企業のリストラとか、少子化とか、いろいろいわれている。しかしながら原因は何であれ、ここらあたりで、行政も、経済界も、私たち市民も、この現実を真剣に受けとめ、何か抜本的な対策を考えていただきたいと願わずにはいられません。

一昨年あたりから、市町村の合併論議が急速に高まっている。効率的な行政運営、費用対効果を高めるためには非やっていたきたいことです。又、

今後どうしても避けて通ることが出来ない道筋だと思います。

三原市も近隣市町とのいろいろな組合せが考えられているが、要は、単なる合併のための合併ではなく、行政サービスが向上し、住民が少しでも、より幸せな生活が出来れば、あまりその組合せにこだわる必要もないと思うのですが、どうでしょうか。

市民ひとりひとり、各界各層、お互いに市の将来を目先のことだけにとらわれず、長期的な視野に立って考えて